

～ いきいき広場 ～ あきた結婚 支援センター

結婚サポーター
新山正雄
西木町西明寺字宮田9
(☎0187-47-2809)

結婚支援センター及び 結婚サポーターの活動方針

「結婚はしたいが出会いの場がない」との声を受け、結婚を希望する男女が、結婚に向け着実な一歩を踏み出せるようにと「結婚支援センター」を中心とし、地域における出会い・結婚支援のための相談や「出会いイベント」等の運営支援、出会い支援ネットワークづくりの協力や市事業への協力。

活動を始めた きっかけは何でしたか

婚活という言葉が多く聞こえるようになり、独身の男女の出会いがこんなに難しい時代になったんだな一と思ったのがきっかけです。「おせっかい」を活かし、お見合い・成婚へと、つなげることができればうれし
いな〜と思っています。

活動状況について お知らせ下さい

仙北市の結婚支援事業へのお手伝いです

が、時には親御さんからの相談もあります。自分のことをしっかり伝えることが難しく、時間がかり、確かに仲に入ってアドバイスをお願いしたいなどもありました。やっぱり第三者の視点で客観的に「魅力など」を伝えてもらいたい部分があるんだな〜と感じています。

県、市に望むこと。

・相談しやすい公民館などに、結婚の仲介人(結婚サポーター)や相談等を行う結婚サポーター推進室の設置。

・仙北市は、結婚して家族ができ、そして老後を過ごす・生涯安心して暮らせるいろいろな施策をすすめる、そのことをアピールすること。

・広報で結婚に関する現状や結婚支援についての発信・自然な形で季節ごとの体験型イベント開催を定着させること。

・地域おこし協力隊と連携した男性女性の婚活講座や、協力者向け婚活講演会などの開催。



■出会いイベントでのサポート活動

- 秋田結婚支援センター
秋田市中通6丁目7-36 ☎018(874)9471
- 南センター
横手市四日町6-8 ☎0182(38)8801

控室

市議会だよりは教科書

市 議会だよりの作成に携わって2年半になるが、いつも四苦八苦している。作成には他自治体の優れた議会だよりも参考にしている。限られたスペースの中で、わかりやすく充実した内容の市議会だよりをお届けできるよう、今後も努力したい。

今回の原稿を執筆するにあたり、議員になる前、市議会だよりは、自分にとってどんな存在であったのかを思い返してみた。高校生の時は、興味のあるページだけを読んで、家族と議論していた。大学の政治学科在学中は、講義内容と仙北市の予算を比較して自分で検討したりしていた。選挙に出ると決めたからは、食い入るように市議会だよりを熟読した。自分にとって、議会だよりは、その市の政治や議会を知る最も充実した広報誌であった。自分がそうであったように、政治に関心のある若い人にとって、政治や議会を学ぶ教科書となるように、市議会だよりを今後も作成していきたい。

(佐藤大成記)

人事案件

教育委員

安部 哲男氏(75歳)再任

生保内字武蔵野105の737

人権擁護委員

伊藤 和子氏(67歳)再任

松木内字相内13

編集後記

昨年、一般廃棄物最終処分場の機器整備、納入の随意契約を巡り納入業者から担当職員が贈収賄を受け、不適切な予算執行をしていた事が判明していた。平成二七年度一般会計決算認定についての議案が12月定例議会初日に提出され、反対多数により不認定とされた。この事案について議会は、昨年調査特別委員会を設置し原因を究明するとともに再発防止策を市に提言した。市は職員の綱紀粛正を図るとともに随意契約適正化に係わるガイドラインを作成し再発防止に努めているが、議会は契約を始め、予算及び行政執行について適切な執行が行われるよう、より一層踏み込んだ監視機能を強めていきます。また、県人事委員会の勧告に準じ議員の期末手当を0.05%引き上げる条例の改正案が上程され、新市建設計画で統合庁舎建設を議会が承認していたが、統合庁舎建設を実現できなかったとして期末手当引き上げの補正予算案を全会一致で否決した。今後とも市民目線で議会活動を推進してまいります。

(門脇民夫記)